

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 経済学部教授

氏名 竹内 真彦2020年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名	採択年度
静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版） ユニット4～ユニット6	2020年度
1. 研究の概要について	
①正史の刊行史において、その出版をとりまく状況を、特に目録（目次）の継承という視点から記述する（2019年度からの継続）。	
②日本における「正史」概念の受容史について記述する。	
2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。	
購入資料には、宋版『周書』『北史』『唐書』が含まれている。また、2019年度に購入した「静嘉堂文庫所蔵 宋元版（マイクロフィルム版）ユニット2&ユニット3」は『史記』や『漢書』3種をはじめ、16種類の正史テキストを含む。これらの画像は現存する正史の版本画像としては早期のものであり、その後に刊行された正史版本が如何なる演変を遂げていったかを確認するための原拠となる。	
また、「正史」という中国発祥の概念が日本において如何に受容されたかを考えるためには、正史の早期版本の確認は不可欠である。	

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

【雑誌論文】

竹内真彦「『正史』目録の演変（2）」（『龍谷紀要』第45巻第2号、2024年3月発行予定）

【図 書】

竹内真彦『三国志の取り扱い説明書』（出版社未定、2024年）

☆資料購入後、**1年以内**に**研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内**に**研究成果報告書**を提出してください。

加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表**または**学会発表**をしてください。

☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。